

卒業論文体験談

1.はじめに

卒業論文提出まで、約 1 ヶ月となりました。みなさん、論文の進行状況はいかがでしょう。昨年を振り返ってみるとこの時期には収集した資料を読み、ひたすらキーボードをたたいていたように思います。書いては消しを繰り返し、試行錯誤していました。今回は、そのような自らの体験の中から、少しでもアドバイスできればと思います。

2.今後の流れ

<p>～12月まで</p>	<p>《 構成を確定し、情報収集！ 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題目の決定</li> <li>・ 章立ての確定</li> <li>・ 関連資料の収集（先行研究の把握）</li> </ul> <p>※講義でも何かアイデアはないか意識して聞く。</p>
<p>12月</p>	<p>《 資料を参考に、ひたすら書き続ける！ 》</p> <p>▼論文を書き進める上での注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一度書いた文章が不要だと思っても削除せずに別に保存しておく。論文を書き進めていく中でその文章が必要になってくることも十分有り得る。</li> <li>・ 参考文献や参考資料は卒業論文の末尾に掲載するため、必ず必要事項を別に書き記しておく。（『卒業論文作成マニュアル』参照）</li> <li>・ <u>書式の設定（★予想以上に細かく設定されていてややこしい）</u>は、できるだけ早く済ませる。少なくとも一万字を超えたら、その時点で定められた書式に設定しなおす。</li> <li>・ データのバックアップは作業をする度に複数とる。（複数の USB メモリにバックアップする。）</li> </ul> <p>《 完成した論文の読み返しを行う！ 》</p> <p>▼確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤字脱字、文法、主述の関係、接続詞、指示語（何をさしているか）、日本語等の確認。</li> <li>・ 真宗学専門外の人を読んでもわかりやすく、理解できる言い回しや説明がなされている論文であるか。</li> </ul>

	※自分で読み返すだけでなく、友達と読み合いをし、指摘しあうと良い。
1月	<p>《 提出の直前まで、論文を見直す！ 》</p> <p>最後の最後までこだわり続けることが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書式の確認は特に必須。定められた書式や構成となっているか『卒業論文作成マニュアル』で再度確認。</li> <li>※論文が書けていても、書式が違った時点で提出は認められない。</li> </ul> <p>《 提出！ 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何があるかわからないため、受付開始時間に提出を行う。</li> </ul>
2月	<p>《 口述試問にむけて卒業論文を見直す！ 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業論文の内容を確認して、質問に答えられるように準備する。</li> <li>・誤字脱字を見つけたら、「正誤表」を作る。（『卒業論文作成マニュアル』参照）</li> </ul>

### 3.内容について

私が昨年苦戦したのは、「序論」の書き方についてです。論文を書く上で「序論」は非常に大きな意味を持ち、これによって論文の印象が大きく変わるようです。分量の目安としては2500字から3000字が適切です。「序論」の内容は以下を参考にしてみてください。

#### ①問題提起（研究の目的）

→論文として示していくテーマを、自分の言葉で説明する。

#### ②研究・考察の手順

→自ら振り分けた章・節・項ごとに何を示していくのか。

#### ③研究の意義（ぜひ書いてみよう！）

→論文での研究が、真宗学という学問において一体どのような意義を持つのか。

以上の内容を**簡潔**に示すことが求められます。一度結論まで書いた後、改めて序論について検討し直すことをお勧めします。

### 4.おわりに

これまで就職活動や教育実習、その他諸々の用事に時間をとられて、卒業論文が思うように進んでいない方もおられるかもしれません。また、途中で行き詰ってしまって悩んでいる方もおられると思います。そのような方は、すぐにでもゼミの先生方や先輩方に相談してみてください。みなさんが、満足いく論文に仕上がることを応援しています。